

# 第4回委員会での主なご意見

---

令和4年3月

農林水産省

## 第4回委員会での主なご意見

第4回委員会での主なご意見	
1	掛かり増し経費の調査は経営規模にも着目すべき。
2	環境保全型農業を断念した農業者に対しては、何があれば継続できたかという視点を含めて調査すべき。
3	温暖化防止と生物多様性のトレードオフにも着目すべき。
4	周囲の取組ほ場で発揮された環境保全効果にフリーライドできると考える人が現れると、将来的な取組の広がりが頭打ちになる懸念はないか。
5	環境保全型農業への取組を通じて地域の農業が活性化しているといった波及効果を検討できないか。
6	生物多様性に関する国際的なイニシアチブを考慮することが重要。今後の生物多様性評価では、市民の活動との連携も考慮してはどうか。
7	環境保全型農業の意義や成果を、農業現場や海外に向けて情報発信していくべき。
8	環境保全型農業の取組には、農地における温室効果ガスの排出削減・吸収以外にも様々な副次的な側面があるため、どのような取組を行えばよりよい効果が発揮されるかを総合的に考えていくことも重要。
9	地域特性によっても実施しやすい取組や実施しにくい取組があるため、地域特性に応じて取組を推進していくことが重要
10	インベントリにおけるメタン排出量の算定で稲わらを秋にすき込むと想定されている地域においては、秋耕の調査結果の見せ方を検討する必要